

発行「内田みえこと我孫子を
デザインする市民ネット」
〒270-1108
我孫子市布佐平和台2-18-10
TEL/FAX04-7139-8859
mieko50@jcom.home.ne.jp

あびこの風

＊東日本大震災から一年・・・



昨年の3月11日に起こった巨大地震、大津波、それに伴う福島第1原子力発電所の事故。悪夢のような大震災から1年が経ちました。お亡くなりになられた方のご冥福と今なお不自由な暮らしを余儀なくされている皆様に心よりお見舞い申し上げます。

2012年3月10日現在、警視庁のまとめによると東日本大震災に起因する死者・行方不明者は2万人を超えています。

また、国連国際防災戦略(IDSR)は、東日本大震災の経済的損失額を16.8兆円と見積もっており、これは、阪神・淡路大震災の11.8兆円、ハリケーン・カトリーナの11.5兆円を上回って過去最大の経済的損失となっています。

大震災の衝撃と教訓をいつまでも忘れることなく、これまでの生き方や価値観を再考し、より良い未来を築いていくことが今を生きる私たちに与えられた使命ではないでしょうか。

死者	行方不明者	「災害関連死」と認定された人	死者・行方不明者総数
15,854人	3,155人	1,407人	20,416人

＊我孫子市の被害状況と今後の取り組み

東日本大震災では、市内で震度5弱の強い揺れが観測され、布佐の東部地区を中心に大規模な液状化が発生しました。幸いにも重症以上の人的被害はなかったものの、家屋やライフライン、公共施設等に大きな被害がでました。

市では震災直後から被災したライフラインや公共施設等の復旧を進めるとともに現地に「布佐東部地区復興対策室」を開設し被災者を支援してきました。

今後は、復興計画を決定し震災に対応できる地域づくりに取り組んでいきます。



【市内家屋の被害状況 (平成24年1月20日現在 単位：棟)】

地区名	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	被害合計
我孫子地区	7 (5%)	3 (75%)	33 (35%)	959 (35%)	1002 (35%)
天王台地区	7 (5%)	0	10 (11%)	478 (18%)	495 (17%)
湖北地区	3 (2%)	0	4 (4%)	420 (15%)	427 (14%)
新木地区	4 (3%)	0	6 (6%)	383 (14%)	393 (13%)
布佐地区	113 (85%)	1 (25%)	42 (44%)	474 (18%)	630 (21%)
市域全体	134 (100%)	4 (100%)	95 (100%)	2714 (100%)	2947 (100%)

どうなっているの？

【放射性物質除染計画】



東日本大震災による福島第1原子力発電所の事故により、我孫子市は他の地域よりも放射線量の高いホットスポットとなりました。

市では、平成23年10月14日に「我孫子市放射性物質除染計画(第1次)」(平成24年3月まで)を策定し、小中学校、保育園、幼稚園、公園等の除染を行ってきました。

その後、平成23年12月28日に汚染状況重点調査地域に指定されたことを受け、特措法に基づく「我孫子市放射性物質除染計画(第2次)」(平成23年度の取組みも含めて平成25年度までの法定計画)を策定し、総合的、計画的な除染を行っていきます。

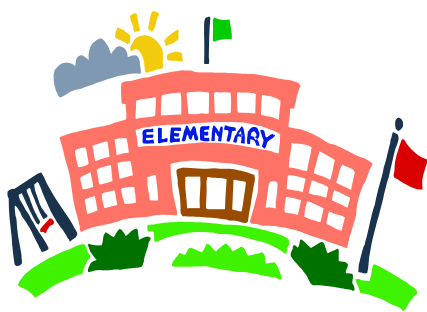
＊我孫子市の除染の目標

- 追加被曝線量を年間1ミリシーベルト以下(注1)
- 除染にあたっては高さ1メートル(小学生以下の子どもが多く利用する場所については高さ50cm)での放射線量を毎時0.23マイクロシーベルト(注2)未満

市の独自目標

- 小中学校、保育園、幼稚園等の子どもが多く利用する施設については、可能な限り事故前の状態に近づけるため、市独自の追加目標として、地上5センチメートルでも放射線量を毎時0.23マイクロシーベルト未満

※市の追加目標は、国際放射線防護委員会の放射線防護の考え方(「合理的に達成可能な限り被ばくを低減する」)に基づくものです。



放射線量測定器の貸し出し(前日までに予約)

- 貸し出し予約受付：平日の月～金 9時～17時
※予約受付電話 7185-2495 or 放射能対策室窓口
- 貸し出し時間：平日の月～金 9時～16時
- 貸し出し期間：1日～
- 貸し出し場所：放射能対策室(市役所分館1F)
- 対象：市民、団体、自治会等

(注1)原子力災害対策本部の「除染に関する緊急実施基本方針」に基づいた基準

(注2)追加被ばく線量年間1ミリシーベルトを1時間あたりに換算すると毎時0.19マイクロシーベルト(一日のうち屋外に8時間、屋内[遮へい効果0.4倍の木造住宅]に16時間滞在するという生活パターンを仮定)

毎時0.19マイクロシーベルト×(8時間+0.4×16時間)×365日

=年間1000マイクロシーベルト(1ミリシーベルト)

0.19+0.04(大地からの放射線)=毎時0.23マイクロシーベルト

＊除染の優先順位

●子どもが多く利用する施設＞優先的かつ早期に除染

- 小中学校、保育園・幼稚園、子育て支援施設、学童保育室、子ども発達センター＞平成24年8月末までに除染
- 公園・子どもの遊び場・スポーツ施設＞平成25年度末までに除染

●子どもが多く利用する施設以外＞毎時0.23マイクロシーベルト以上の場所の中で放射線量の高い施設から優先的に除染

- 戸建て住宅＞子どものいる世帯を優先して除染
- 民有地の除染(戸建て住宅・集合住宅含む)＞当面、市の資機材の提供等の支援事業によって、市民(所有者・管理者)や自治会及び管理組合等と協力しながら除染
- 道路(市道)＞平成25年度末までに除染 (国道・県道＞実施時期等を検討し国・県が実施)
- 農地＞詳細測定を行い方針を決定
- 民有地のマイクロホットスポット(局所的に高い放射線量が測定される場所)＞市が市民や所有者・管理者と協力して除染

どうなっているの？

【手賀沼の放射性物質による汚染状況】

環境省の「千葉県内の公共用水域における放射性物質のモニタリング測定」(H23年11月)

- 水質＞放射性ヨウ素・放射性セシウムともに全地点において不検出
- 底質

	セシウム134	セシウム137
大堀川出口	4300 ベクレル/kg	5400 ベクレル/kg
根戸下	1500 ベクレル/kg	1800 ベクレル/kg
湖畔の土壌(下手賀沼付近)		930 ベクレル/kg



※手賀沼の全ての魚の出荷自粛中

県のモニタリング検査で、平成24年3月3日に手賀沼から採取したモツゴから171ベクレル/kg、3月10日に採取したフナから400ベクレル/kgの放射性セシウムが検出された。4月からの放射性セシウムの新基準値100ベクレル/kgを超えていたので自粛を決定。

＞3月議会での提案

- ・環境省に対して、モニタリング測定の継続を要望すべきと提案
- ・都市濃縮を低減させるため、今後、除染について、統一見解を持って対応・実施するよう近隣市に働きかけることを提案

Information

＊我孫子市のホールボディカウンタ測定費用の一部助成

市では、福島第1原発事故の影響による内部被ばくに対する市民の不安軽減と内部被ばくの状況把握のため※ホールボディカウンタ測定費用の一部を助成します。

※内部被曝線量を調べるために 人間の体内に摂取され沈着した放射性物質の量を体外から測定する装置

助成対象者：小中学生、妊婦、乳幼児

子どもたちに健やかな未来を！

助成額：測定1人につき3,000円限度

助成期間：平成24年4月1日～平成25年2月28日

助成回数：1人につき1回

申請方法：測定実施後、市の健康づくり支援課へ直接又は郵送にて申請

申請に必要なもの：申請書、領収書原本、測定結果の確認ができる書類

実施機関：指定はないが、市が把握している機関は下記の通り

実施機関	放射線リスクリサーチセンター (検査実施機関：東海渡井クリニック)	高輪クリニック
場所	東京都大田区東海3-2-1 大田市場内事務棟8階	東京都港区高輪4-23-6 ハイホーム高輪201
申込先	TEL：03-5755-9633 受付時間：9～17時(月～金)	TEL：080-3593-9272 or 03-3449-4909 受付時間：10～18時

※申込時に我孫子市民であることをお伝えください。



地産・地消の自然エネルギーの推進を

＊我孫子市住宅用太陽光発電システム設置費補助金

補助金額：太陽光発電モジュール1キロワット当たり2万円(最大3.5キロワットまで)

対象発電システム：余剰電力を電力会社に販売するもので住宅の屋根等に設置するもの

対象者：自ら居住する市内の住宅に設置する方で、平成25年3月19日までに工事を完了し、実績報告書を提出できる方

受付期間：平成24年4月2日～平成25年2月28日(予算枠を超えた場合は受付終了)

問い合わせ：04-7185-1484(手賀沼課)

ホームページ <http://www.uchida-mieko.com>

ブログ <http://blog.zaq.ne.jp/ippo/>